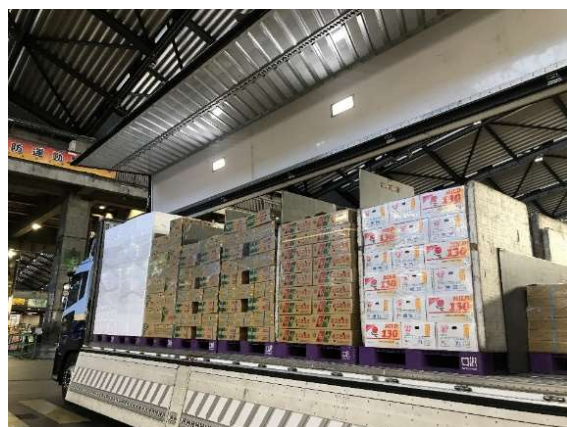


# 3-1. JA域や県域を越えた共同輸送（広域SP設置の検討）

## 〔九州での県域を越えた共同輸送〕

- ・ 京浜や京阪神まで輸送距離の長い九州地区では、消費地への「運べないリスク」解消が喫緊の課題となっている。
- ・ 本会は、2021年11月に福岡市の物流業者拠点を活用し、福岡・佐賀・長崎県の青果物を対象に積み合わせによる共同輸送試験を実施した。これにより、①パレット輸送による荷積み・荷下ろし時間短縮、②県域を越えた荷まとめによる積載効率の向上、③複数県域一括納品による卸売市場の負担軽減、を確認した。
- ・ 現在、2023年度からのトラックとフェリーを活用した複数県域による共同輸送実施を検討している。

### 2021年11月の北部九州 3 県による共同輸送実証

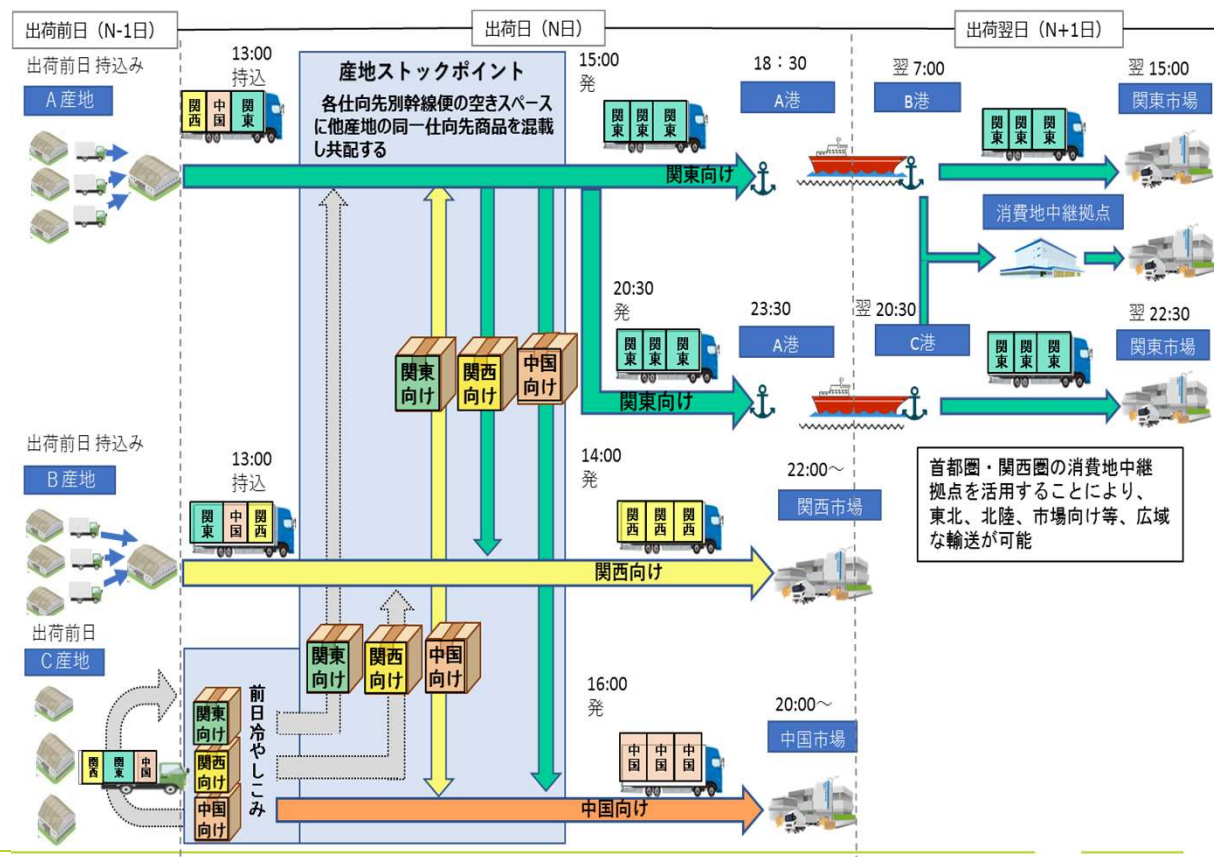


県域を越えた  
共同輸送便

パレットでのスムーズな  
荷降ろし



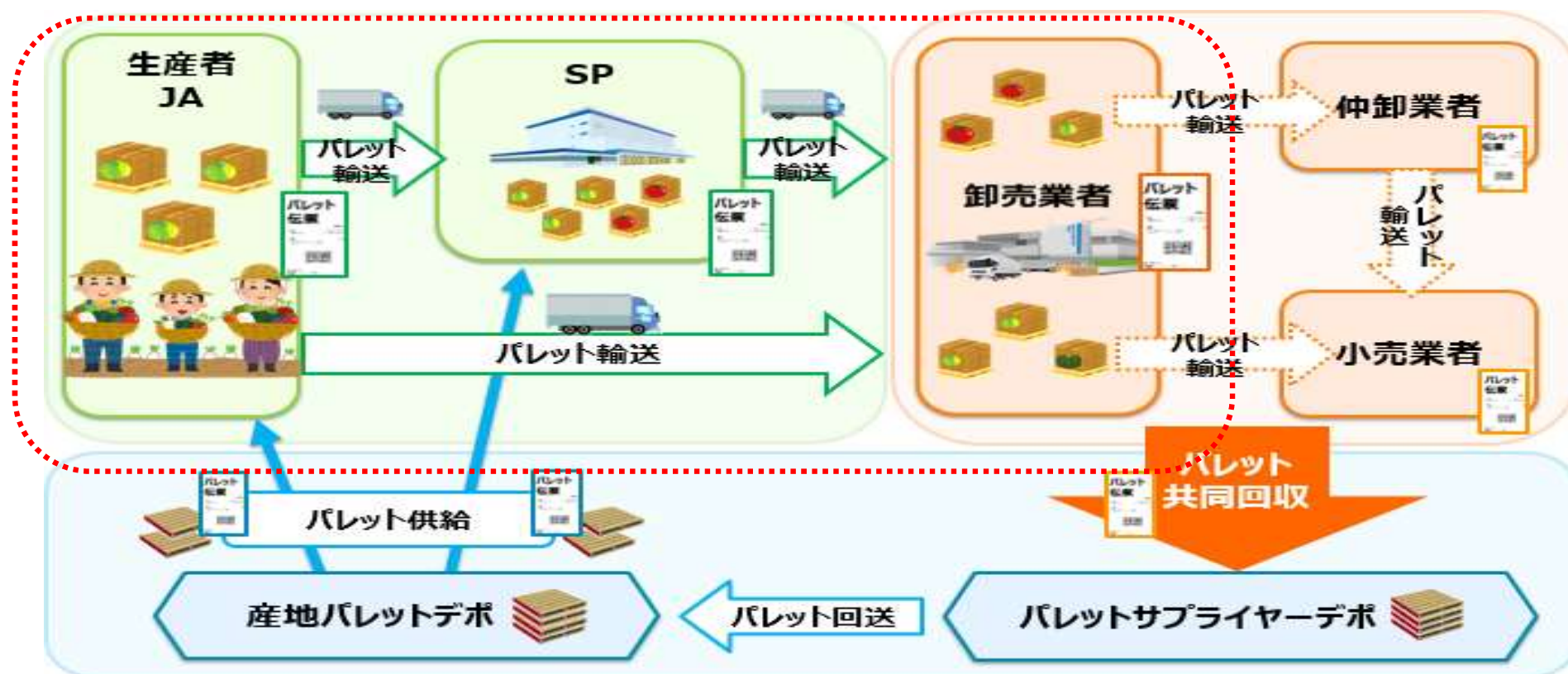
### モーダルシフトも活用した共同輸送実証イメージ



## 3-2. 青果物におけるパレット輸送の拡大（循環型パレット体制の構築）

- ・ 青果物流通の太宗を占める卸売市場流通においては、全国の産地から卸売会社を集積され、仲卸を通じて量販店等の実需者へ配送されるが、パレット輸送の拡大に向けてはパレットの回収率向上が課題となっている。
- ・ また、産地ごとに種類の異なるパレットが使用されると、卸売市場でのパレットの置場確保や種類別区分管理業務等の問題が生じている。
- ・ このため本会は、農水省の「青果物流通標準化検討会」で整理した青果物流通標準化ガイドライン骨子（パレット循環体制）をふまえ、レンタルパレットを活用した循環型パレット体制の構築をすすめている。

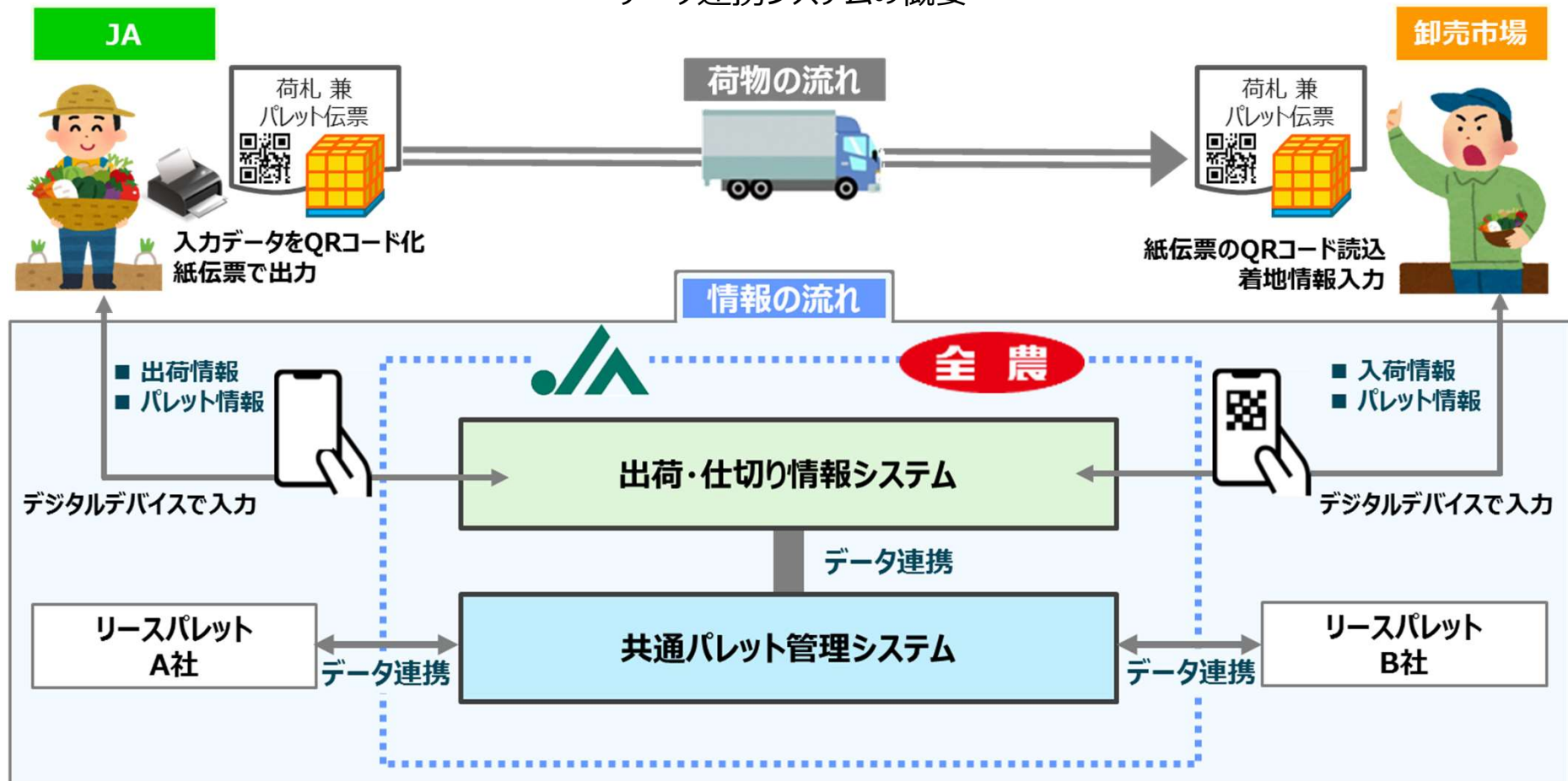
循環型パレット体制のイメージ



## 3-2. 青果物におけるパレット輸送の拡大（パレット所在の可視化）

- ・パレット回収率の向上に向けては、産地から荷物を載せたパレットがどこにあるのか、リアルタイムで可視化できるようにする必要がある。
- ・本会は2021年度から国庫事業を活用して、関係者が共通で可視化できるシステムの構築を目指し、産地からの出荷情報、パレットサプライヤーの受払情報・卸売市場での到着情報など、データ連携する実証をおこなっている。今後は仲卸や実需者へ範囲を広げ、実装に向けて取り組むこととしている。

データ連携システムの概要



## 3-2. 青果物におけるパレット輸送の拡大（段ボール箱サイズの標準化）

- ・ 本会は、農水省の青果物流通標準化ガイドライン骨子（外装表示、外装サイズ）を具現化し、国内で数多く流通するT11型によるパレット輸送の拡大をはかるため、パレットサイズに適合した段ボール箱の標準化をすすめている。これまでレタス、タマネギ、ネギ、馬鈴薯、ニンジン、ダイコンで検討をおこない、最終的に主要野菜14品目で実施することとしている。
- ・ 品目ごとの大きさや出荷規格の違い、産地集出荷施設の設備改修の必要性など、標準化に向けては時間を要するため、品目ごとにサイズを例示した「段ボール箱標準化ガイドブック」を作成し、これを参考に各県域で順次サイズ変更の検討をすすめている。

検討の一例（ネギ、馬鈴薯）

| 品目  | はい数  | 箱寸法                                    | 組み方 | 入り数                                | 参考                           |
|-----|------|----------------------------------------|-----|------------------------------------|------------------------------|
| ネギ  | 8はい  | 長さ面：<br>540～580mm<br>幅 面：<br>220～260mm |     | 【5*箱】<br>3L: 20<br>2L: 30<br>L: 45 | 商品全長<br>57cm<br>(青葉部<br>カット) |
|     |      | 長さ面：<br>610mm<br>幅 面：<br>205～245mm     |     | 【3*箱】<br>3L: 14<br>2L: 20<br>L: 30 | 商品全長<br>60cm                 |
| 品目  | はい数  | 箱寸法                                    | 組み方 | 量目                                 | 参考                           |
| 馬鈴薯 | 12はい | 長さ面：<br>365mm<br>幅 面：<br>275mm         |     | 10 k g                             | -                            |
|     | 12はい | 長さ面：<br>360mm<br>幅 面：<br>260mm         |     | 10 k g                             | -                            |
|     | 10はい | 長さ面：<br>400mm<br>幅 面：<br>260mm         |     | 10 k g                             | -                            |

T11パレットに適合した段ボール箱標準化ガイドブック



## 4. まとめ（1/2）

○青果物流通の持続可能な物流の構築には、生産者（産地）側の効率化・標準化とあわせ、着荷主様側の理解と環境整備にむけた協力が不可欠。

○本会は、今後も青果物流通関係者と以下事項について国の支援を受けながら推進する。

### 4-1. 共同輸送による積載率向上やモーダルシフト等による輸送体制の維持

|                  |                                                                                                                                                                                     |
|------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 発荷主<br>（生産者・JA）  | <ul style="list-style-type: none"><li>➤ コールドチェーン出荷実現と納品リードタイムの延長（出荷起算販売日の延長）</li><li>➤ 出荷予定情報や出荷情報のデジタル化</li></ul>                                                                  |
| 流通関係者<br>（物流事業者） | <ul style="list-style-type: none"><li>➤ 市場荷受けのピーク時間帯を避けた納品の実現</li><li>➤ 積載効率向上に向けた車両情報の提供（空きスペースと小口貨物のマッチング）</li></ul>                                                              |
| 着荷主<br>（卸売・需要者）  | <ul style="list-style-type: none"><li>➤ 納品リードタイム延長に係る理解・協力</li><li>➤ 待機・荷卸し時間の削減（市場一括荷受けなど）</li><li>➤ トラック予約受付システム導入や、システム受付枠拡大による荷受け体制の整備</li><li>➤ コールドチェーン維持に係る荷受施設の整備</li></ul> |
| 国および関係者          | <ul style="list-style-type: none"><li>➤ 青果市場納品時間にマッチした長距離フェリー枠の整備</li><li>➤ 遠距離輸送を支える鉄道貨物輸送体制の維持と災害時の代替輸送手段の整備</li><li>➤ 出荷情報のデジタル化に係る環境整備と国の支援</li></ul>                           |



## 4. まとめ（2/2）

### 4-2. パレット輸送の拡大

|                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 発荷主<br>（生産者・JA）  | <ul style="list-style-type: none"><li>➤ パレット出荷体制の整備（出荷施設改修、パレタイザー、デパレタイザー）</li><li>➤ T11型パレットに適合した出荷段ボールサイズの変更推進</li><li>➤ 出荷予定情報や出荷情報およびパレット情報のデジタル化</li></ul>                                                                                                                 |
| 流通関係者<br>（物流事業者） | <ul style="list-style-type: none"><li>➤ パレットによる商品の受渡に係る協力</li></ul>                                                                                                                                                                                                             |
| 着荷主<br>（卸売・需要者）  | <ul style="list-style-type: none"><li>➤ 荷卸し時間短縮に向けた環境整備（パレット荷おろし専用レーン設置等）</li><li>➤ パレット管理意識および管理体制の構築</li></ul>                                                                                                                                                                |
| 国および関係者          | <ul style="list-style-type: none"><li>➤ 青果物流通関係者によるパレット管理共通ルールの策定</li><li>➤ パレット回収・仕分け・循環に係る設備や仕組みの共通化（インフラ整備含む）</li><li>➤ パレット出荷に資する産地出荷設備の更新に関する国の導入支援</li><li>➤ 出荷規格の簡素化に係る検討や、T11型パレットに適合した出荷段ボールサイズの変更推進</li><li>➤ パレット共通管理システム導入による所在可視化と、関係者によるコスト負担や責任に係る議論促進</li></ul> |



